



2013～14 年度  
国際ロータリー会長

Ron D. Burton

# Weekly Report Niigata



2013～14 年度  
新潟ロータリー会長

山本 正治



## ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

2013～14 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 3月第 2例会 (2014.3.11) No.3032

### (1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

### (2) 山本 正治会長挨拶

今日は次の 2 点についてお話しします。1 点目は、今日 3 月 11 日発生した東日本大震災の事です。3 年目となりますが、この間に亡くなれた方々や、行方がまだ分かってない方が 1 万 8 千人以上におられます。また震災関連して亡くなられた方が 3 千人以上おられます。この方々に心から哀悼の意を表します。今日午後 2 時 46 分、全国で黙とうの時間が設けられていますので、黙とうはその時をお願いします。

2 点目は「社会奉仕の原点は公衆トイレの建設から」についてお話しします。昨年 7 月の最初のご挨拶で、私は会長マニフェストを発表しました。その中で、親睦と笑いと職業奉仕を大事にしたいと申し上げました。私がたびたびお出ししている「第 2 世紀ロータリーの樹」の図では、大地又はロータリーの樹の根この部分を大事にしたいということです。この大地からロータリーの樹が育つわけですが、その大きな枝葉に社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕などがあります。今日の会長挨拶は、この大きな枝葉の中から社会奉仕に焦点を当ててお話しします。

まずはロータリーの歴史からひも解いてみます。1905 年、ポール ハリスが 3 人の仲間(シルバスター シール、ガスターバス ロア、ハイラム ショーレー)とロータリークラブを創設しました。その理由は、悪がはびこり何でもありのシカゴで信頼できる商取引を会員相互で行うことにあったと、私は理解しています。創設期のクラブには統計係があり、会員相互でどれだけ商取引が成立したかを毎回の例会で発表し、次回の例会までに目標値を決めてその達成に一喜一憂したとのエピソードもあります。シカゴロータリークラブが決めた最初のクラブ定款でも、会員の事業上の利益の促進と会員相互の親睦を明記しております。この現実的な考え方に賛同した人は多かったようで、創設数年にして、会員数は 200 名を超えたとの記録が残っています。

しかし翌年の 1906 年、ロータリークラブ会員のフレデリック ツウィードが、知り合いの弁理士ドナルド カーターに入会を勧めました。入会を勧めるためにクラブ定款を見せたところ、即座に断られたそうです。会員以外の人に利益をもたらすことを考えるべきであって、今のままで入会したくないとの理由でした。その後入会したカータ

ーが中心となってシカゴ市の最大の利益を促進し、忠誠心を市民の間に広げること定款に加えしました(田中毅:『炉辺談話』)。この定款のもとで最初に行ったのが、市役所と図書館ビル脇に公衆トイレの設置でした(1909 年)。社会奉仕活動の第 1 号と言うべき記念すべき事業となりました。

では日本で、社会奉仕活動の第 1 号となった公衆トイレの設置を行ったクラブがあるかインターネットで検索してみました。ありました。平成 18 年、徳山ロータリークラブはカンボジアの幼稚園にトイレを寄贈しました。近所の人も使っており、ロータリーが水の安全に力を入れていることを住民が再認識しました。平成 21 年、水戸西ロータリークラブはフィリピンに小学校の教室を建設しましたが、予算が余ったのでトイレも造ったとのこと。また同年、宝塚武庫川ロータリークラブはタイの学校にトイレを寄贈したところ、トイレ正面にロータリーのマークとクラブ名のプレートが設置されました。

事例のほとんどは発展途上国への支援活動でした。国内的には広島西ロータリークラブが、平成 22 年の創立 40 周年の記念事業として、広島県内の公園に公衆トイレを寄贈しました。すべての公衆トイレ設置活動を紹介できないのは残念ですが、日本の多くのロータリークラブが公衆トイレの設置にこだわりを持っているようにお見受けしました(笑)。

最後に、ロータリークラブで公衆トイレの設置が今後広まるかどうかを予測したいと思います。皆さまご存知のように、昨年 7 月から未来の夢計画が正式に始まりました。ロータリー財団は、活動分野を職業奉仕や地域の社会奉仕から国際奉仕活動に大きくシフトしたと私は考えております。特にグローバル補助金プログラムとして、平和と紛争予防、疾病予防、母子保健、水の衛生、識字率向上、経済と地域社会の発展を、六つの重点分野に指定しました。この中で発展途上国における水の衛生問題は極めて重要と考えます。具体的には上下水道の整備のことを言っています。私の専門とする衛生学・公衆衛生学が教えるように、上下水道の整備によってコレラ、腸チフス、赤痢などの消化器系伝染病が減りました。さらに感染症死亡率だけでなく非感染性疾患の死亡率減少や乳児死亡率の減少にも寄与しました。そこで公衆トイレの設置は、未来の夢計画の疾病予防、母子保健、水の衛生分野で貢献できるので、ますます世界中に公衆トイレの設置は広まっていくと確信しております。

(3) ゲストの紹介

新潟県神社庁 録事 中村 郁さん

(4) ローターの友紹介

田中堅一郎委員2月号

伊原 健至委員3月号

(5) 委員会報告

- ・岡村 健吉親睦委員長から、観桜会の案内
- ・小山 楯夫元会長より、新潟RC創立50周年記念式典に香港島東RCより4名出席頂き、お土産として50周年の節目の船出ということで帆船の模型をいただきました。事務局は連合事務局でありスペースもない事から、私が預かっておりました。皆さんにお披露目します。



(6) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(得永 哲史委員)

金親 顯男君

青少年育成基金寄付発表(山田 隆一副委員長)

樋熊 紀雄君

(7) 幹事報告

栃尾ロータリークラブ事務局移転のお知らせ

新事務局

長岡市谷内2丁目5番9号

栃尾秋葉門前商エプラザ2階

栃尾商工会内

電話 0258-52-4191

FAX 0258-52-4135

例会場 恵比仁(7月~12月)

大覚(1月~6月9)

(8) 会員スピーチ「第62回 伊勢神宮ご遷宮」

(ビデオ放映)

白山神社 宮司 小林 敬直君

(9) 本日の出席率 76.09 %

(2週間前メーク後 86.37 %)

3月18日の例会予定

会員スピーチ 「粋なロータリアンの身だしなみ」

新潟三越伊勢丹 代表取締役社長 三須 尚紀君

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rrcrcrc

グローバル補助金 2014年1月報告書  
グローバル補助金奨学生  
イリノイ大学大学院アーバナシャンペーン校修士課程在籍  
麴沢 美裕

冬もいよいよ本格的になりました。1月にはアメリカでは歴史的な大寒波が理由で、イリノイでは吹雪に加えて気温は-24℃にまで下がり、大変寒い冬となりました。北海道に住んでいた時よりも寒い毎日を送っていますが、例年イリノイはここまで寒くはないようで、厳しい寒さに耐えながらも貴重な経験をしています。

1月3日に、私の補助金のカウンセラーをして頂いている郡司様夫妻のご自宅で、お正月の食事を頂きました。お雑煮や、黒豆、新潟の日本酒までふるまって頂いて、アメリカでお正月をひっそりと寂しく過ごしてた私には非常に喜ばしく、おいしく頂きました。その際に、非常に気さくなドイツ人の彫刻家の方もいらして、またの新しい出会いを嬉しく感じました。

今月の中旬にはシャンペーンロータリークラブの例会にも出席しました。私は新潟のときもそうだったのですが、ロータリークラブの皆さんにお会いするときは非常に緊張します。こちらでは相手の目を見ながら英語で会話するのでさらに緊張してしまうのですが、例会に出席させていただけることで、社会貢献に熱心な多くの方々にお会いすることができ、非常に素晴らしい経験なので、これからも是非参加しようと思っています。

1月21日からはいよいよ春学期も始まりました。今学期は先学期の授業ではカバーしていなかった生物学的な水処理についても学ぶので、楽しみです。Remediation Designという授業では、実際に工業的汚染があった地域の、地下水という観点から、どこまで実際に汚染が進み、環境修復を図るためにはどのような技術をどのように使うべきかという実践的なことを学び、計画する授業です。講義形式だけではないのがアメリカの授業の大きな特徴だと思います。こういった問題は実際に起こりえるものなので、どのようにアプローチすべきかを学びたいと思います。

以上をもちまして、1月の報告書と致します。

